

医療福祉生活協同組合におけるコ・プロダクションへの組合員参加を促進するプロセス

—組織化活動を行う組合員および専門職による働きかけと共振に関する計量分析—

○東京都立大学大学院 小山 宰 (会員番号 009663)

キーワード：コ・プロダクション、保健医療福祉サービスへの参加、医療福祉生活協同組合

1. 研究目的

専門家主導の伝統的な保健医療福祉サービス提供のあり方を見直し、市民や患者の参加やエンパワメントを具体化する取り組みとしてコ・プロダクションが着目される。しかし、専門職と市民・患者の関係変容を含意するコ・プロダクションについては、その取り組みに専門職の側が消極的であるとの実態が指摘され、それらを克服するための専門職の実践のあり方の明示が研究課題となっている(Palumbo 2016)。保健医療福祉サービスのコ・プロダクションへの関心はわが国でも同様に確認され、特に「医療福祉生活協同組合」(以下、医療生協)におけるコ・プロダクションは国内外の研究者によって取り上げられている。しかし、医療生協のコ・プロダクション研究においても、そこでの組合員参加の形成過程や参加の促進に関わる専門職の働きかけの内容は明らかにされていない。

本研究に先立ち、医療生協の専門職および医療生協において組織化活動を行う組合員に対して、組合員参加の促進に関わるインタビュー調査を実施した。その結果、組合員参加の促進にあたっては、「共振」(民主的な組織運営などの価値を内包する医療生協の取り組みに対する組合員の理解が、組合員同士または専門職の相互作用の中で深められ、それにより組合員の広範な行動が生み出される状況)が大きな作用を及ぼしていることが示唆された。本研究では、医療生協におけるコ・プロダクションへの組合員参加が促進されるプロセスを計量的に検証し、そこでの共振の作用および共振の生成に関わる専門職および組織化活動を行う組合員の働きかけの内容を明らかにすることを目的とする。

2. 研究の視点および方法

A 医療生協で機関誌配布の活動に取り組む組合員を対象に質問紙調査を実施した(支部を単位としたクラスター抽出法を用いて1,327名(30支部)を調査対象として抽出した)。機関誌の配布の活動は、ヘルスリテラシーの向上や組合員の交流を生み出す点においてその重要性が評価される(Pestoff 2021)。本研究では、この機関誌配布に携わる組合員が経験する共振が組織運営への参加を促進しているのかを計量的に検証し、またその共振の生成に寄与する組織化活動を行う組合員および専門職による働きかけの内容を明示する。

3. 倫理的配慮

調査対象者に対して無記名の調査であり個人が特定されることがないこと、個人が特定

できるような結果の公表は行わないこと、質問紙の回答・提出をもって調査協力に同意を得たものとさせて頂くこと等を文書にて説明した。なお、本研究は東京都立大学研究安全倫理委員会の承認を受けている（承認番号 H3-114）。

4. 研究結果

質問紙の回収数は 556 件であった（調査期間：2021 年 9 月 1 日～10 月 10 日）。この内、主要な質問項目において欠損値の割合が 1 割程度を上回る回答は分析の対象から除外し最終的に 312 件（有効回答率 56.1%）を分析対象とした。回答者の 85%以上は女性で、年齢の平均値は 72.4 歳であった。回答者の内、約 3 割が医療生協の活動において組織運営への参加をしていた。組織化活動を行う組合員および専門職による参加促進の働きかけに関する因子構造の把握と、共振の尺度の作成を目的に探索的因子分析および共分散構造分析をそれぞれ実施した。生成された潜在変数および尺度の合計得点を用いて、A 医療生協におけるコ・プロダクションへの組合員参加の促進プロセスについて共分散構造分析を行った。その結果、共振は有意に組合員の組織運営参加を促進していることが明らかとなった。そして、その共振の生成に繋がる専門職の働きかけの内容には、①「目標共有を踏まえた役割の信任」、②専門職と組合員の間での「開放的な関係づくり」の 2 つが確認された。また組織化活動を行う組合員による参加促進の働きかけの内容は、組合員同士の「信頼関係に基づく誘いかけ」の 1 つに集約された。これら二者による働きかけは、組合員の医療生協に対する重要性の認識を高め、さらに組合員同士の信頼感と医療生協への共感を向上させ、それらが共振の生成に直接的な影響を及ぼしていることが明らかとなった。

5. 考察

コ・プロダクションの実践に際して専門職のソフトスキルの重要性が指摘される（Dunston et al. 2009）。本研究結果は、組合員参加の促進にあたり専門職のソフトスキルがいかなる場面で活用されるべきかを具体的に示す。すなわち専門職はコ・プロダクションにおける参加を促進するにあたり、組合員に対して医療生協の事業や活動発展に向けた目標の共有をする場面のほか、その目標達成に向けて役割を委ねる場面、組合員との間で傾斜のない関係づくりを行う場面においてソフトスキルを活用していくことが重要となる。

【参考文献】

- Dunston, R., Lee, A., Boud, D., et al. (2009). Co-production and health system reform-from re-imagining to re-making. Australian Journal of Public Administration, 68(1), 39-52.
- Palumbo, R. (2016) Contextualizing co-production of health care: a systematic literature review. International Journal of Public Sector Management, 29(1), 72-90.
- Pestoff, V. (2021) Co-production and Japanese Healthcare Work Environment, Governance, Service Quality and Social Values, Routledge.